







課長	参事	主幹	技術主幹	防災対策係	安全管理係
					

議 事 録

題 目	川内原子力発電所の原子力災害に係る広域避難時間推計業務 打ち合わせ 第5回		
日 時	平成 26 年 3 月 24 日(月) 15:00~17:30		
場 所	鹿児島県庁		
出席者 (敬称略)	四反田氏、赤塚氏、富吉氏、川添氏 (鹿児島県危機管理局原子力安全対策課)		
	[Redacted] (ユードック株)		
作成者	[Redacted]	作成日	H26.3.24
資 料	資料：報告書 (案)		

議事要旨

■報告書 (案) を持参、検討を進めた結果報告および 28 日の納品について

■結果報告について

・日中夜間の比較

背景交通についてはどの様に異なっているのか？

→一般的に夜間は日中の 3 割程度の交通量となる。

信号制御が異なるとあるが、具体的な例はあげられるか。

→各地点により、サイクル長を変えたり、青時間比を変えたり、昼と夜との設定はまちまちである。

・観光ピークの比較

推計した観光客数は 15,010 人。観光客による避難需要の発生点は、各市町における人口の集中している点とした。(UDEC)

PAZ の避難に影響したものは、どう考えられるのか？ (県)

→観光客は UPZ 内から発生しているため、段階的避難の 1 段階目においては自主的避難率 4 割より観光客 15,010 人の 4 割である、6,004 人が No. 3 のケースより多く発生していることとなり、PAZ の避難に影響していると思われる。(UDEC)

・道路インパクト

津波避難先からの避難において、自家用車利用率 50%とした。とあるが、どういう意味合いか？

→同乗者人数を上げるなどして、利用率が減ることと想定している。

・検討、評価の結果、特に意見なし。

■次回納品 28 日 16 時

持参予定

報告書

完了届

以上